



掘り起こしたカプセルを見て歓声をあげる卒業生



よみがえるあの日の思い出

白山小学校タイムカプセル開封式

白山小学校タイムカプセル開封式が8月12日、昭和49年度卒業生とその恩師らの参加により、同校校庭で執り行われました。

このタイムカプセルは、49年の夏に、6年生だった卒業生らが作文や写真などを埋設したもの。還暦を迎える平成34年に開封予定でしたが、26年度に小学校が統合されることから前倒しで行われました。掘り起こした容器から、修学旅行についての作文などが確認され、卒業生は思い出話に花を咲かせていました。

高齢者が街なかに旬を提供

産直南大通りオープン

(株)奥州市シルバー人材センター（菊地郁雄理事長）が運営する「産直南大通り」が8月1日、江刺区の南大通り地内に開店しました。

産直では、大通公園向かいにあった空き店舗を活用し、同センター登録会員と江刺区内の産直施設が出品した新鮮野菜と加工品を販売。店舗の隣には休憩スペースも設置されました。江刺区六日町の綾野八重子さん（84）は「膝が痛いので、近所で買い物が出て腰も下ろせて助かります」と買い物を楽しんでいました。



新鮮な野菜を求める客でにぎわった店内

地域の結束に笑顔があふれ

第58回奥州市胆沢区民運動会

第58回奥州市胆沢区民運動会が8月19日、胆沢陸上競技場で開催され、快晴のもと、区内の14支部が心地よい汗を流しました。

工夫を凝らした競技が多いこの大会で、巨大バトン3人1組で抱え次の組にリレーする「支部の3兄弟」は、応援が盛り上がる競技のひとつ。出場者は各チームの声援を受けて、上手にバランスを取りながら、笑顔で競技に挑んでいました。優勝は西堀切支部チームで、ことしで7回連続の優勝となりました。

折り返して、速度調整する「支部の3兄弟」参加者



真剣な表情で骨をつなぎ合わせる参加者

豚足から骨格標本を作ろう

牛の博物館で夏休み体験学習

牛の博物館による体験事業「豚足から骨格標本を作ろう！」が8月10日、同館で行われました。

市販の豚足でブタの骨格標本を作るこの体験学習。ウシと同じ偶蹄類の骨格を観察し、環境や生態に合わせた進化を学びます。7月21日にはゆでた豚足の解体・クリーニングを行っており、この日は骨の分類・組み立てを体験しました。いとこと参加した佐藤瑠空君（水沢南小6年）は「ブタが指5本ではなく、2本で立っていたのは驚き」と目を輝かせていました。



プロと市民の力で本格舞台

市文化会館開館20周年記念事業オペラ「椿姫」



朗々とした歌声がホールいっぱいに響き渡る

市文化会館開館20周年を記念した市民参加オペラ「椿姫」が8月19日、同会館で開催されました。

この公演は、本市出身の及川貢さん（奥州大使）が総合プロデュースを務め、本市出身で日本を代表するテノール歌手の福井敬さん（奥州大使）が主演。奥州市民Z管弦楽団や市内で活動する合唱団らも共演しました。参加した市民らはことし1月から練習を重ねており、歌はすべてイタリア原語。会場には出演者の歌声が響き渡り、東京小牧バレエ団の踊りも華を添え、約1,300人の観客を魅了しました。江刺区から来場した小野寺和子さん（72）は「歌も表情も迫力があって素晴らしい。衣装なども本格的」と感嘆していました。

台湾と日本の獅子躍が交流

台湾桃園大崗国立中学校龍獅隊が来奥

奥州金津流獅子躍連合会（平野幸男会長）と台湾桃園大崗国立中学校の龍獅隊が8月2日、えさし藤原の郷を会場に、互いの演舞を披露し交流しました。

この交流会は、日本の郷土芸能団体との交流を希望していた台湾側が、インターネットで知った同団体に交流を申し込み実現したものです。台湾国内ではトップクラスという龍獅隊が、まるで獅子が生きているかのように演舞し、金津流獅子躍連合会の8人が勇壮な舞を披露。観客から大きな拍手が送られていました。

生き生きと躍動感あふれる獅子の演技



お姉ちゃんと一緒にゴールを目指すよ

ゴールを目指して突き進め

よちよち歩き大集合

ことしで26回目を迎える「よちよち歩き大集合」が8月26日、衣川保健福祉センターで開催され、区内外から26人の1歳児が参加しました。

5合の餅、約1キを背負った幼児らは、10m先のゴールを目指して、一生懸命によちよちと歩き出しました。スタートと同時に走り出す子もいれば、泣き出したり、途中で立ち止まったりする子も。会場からはそのかわいらしい姿に「頑張って」と、大きな声援が送られていました。